

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

7月1日～31日は強調月間 “社会を明るくする運動”

問 福祉課保護係 ☎95-9883

“社会を明るくする運動”とは？

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための法務省が主唱する全国的な運動で、今年で72回目を迎えます。

市では、保護司会や更生保護女性会が中心となって、7月12日(火)から29日(金)に市役所1階ホールで標語コンテストの作品や啓発パネルなどの展示とともに実行委員が啓発活動を実施します。

啓発活動には、この運動の趣旨に賛同いただいた企業・団体・個人の協賛金で作成したハンドタオルを活用します。ハンドタオルが入っている袋の中には、市内中学生から募集した“社会を明るくする運動”の標語の優秀作品をまとめた印刷物が入っています。手にされた人は是非読んでください。



保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察対象者の生活環境の調整や、犯罪予防活動に取り組んでいます。市内には25人います。

更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。市内の会員数は100人です。

協力雇用主

犯罪や非行の前歴のために、定職に就くことが容易ではない刑務所出所者などを、その事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主です。市内に9社あります。

“社会を明るくする運動” 標語作品入賞作品

市内の中学生から千864点の応募があり、以下の作品が入賞しました

(敬称略)。

最優秀賞

耳をすまして 心の声を聞こう 目指すは明るい社会

神谷和奏 (新川中3年)

優秀賞

「ありがとう」 幸せになれる 愛言葉

後藤彩音 (中央中3年)

みんなが平等 みんなが一番 一人一人を大切に

磯貝優羽 (南中3年)

入選

心のドア ロックしないで 開けてみよう

今枝菜緒 (中央中3年)

「大丈夫」 その一言で 救えるよ

小笠原杏里 (中央中1年)

見えてるの? いじめたあの子の 「コロコ」の傷

横山結良 (南中3年)

伝わらぬ 相手の心 スマホ越し

小林七海 (南中3年)

「少しだけ…」 一つの油断が 落とし穴

宮川茉優 (南中1年)

無理しない 辛い時は 逃げていい

中澤芽依 (南中1年)

ほしいもの 万引きしてまで ほしい物?

宮本紗衣 (東中3年)

いやな事 チクチク言葉 言っちゃだめ

藤山明香里 (東中1年)

見えないが 言葉も立派な 凶器だよ

杉浦優泉 (西端中2年)

その言葉 送信したら 傷つかない?

原田瑛多 (西端中2年)

碧南保護区保護司会碧南支部長賞

汚した手 それで何を つかめるの

佐々木里緒 (新川中3年)

笑顔はね マスク越しでも 満開に

黒木菜有 (中央中3年)

見て見ぬふり いつのまにか 加害者に

戸間葵 (南中3年)

ありがとう 仲を深める 愛言葉

下島果 (東中2年)

見ていても 注意しなくちゃ 救えない

榊原くるみ (西端3年)

市更生保護女性会長賞

犯罪は 心のカメラに うつつてる

近藤孝宣 (新川中1年)

言葉のナイフ まわりの人に ならないで

杉浦幹太 (中央中2年)

それぞれが みんなの笑顔 守らなきゃ

山中梨緒 (南中3年)

秘めないで マスクの中の その悩み

前田真人 (東中2年)

忘れない 心の傷は 一生もの

鳥居奈々佳 (西端中3年)